



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 ゼビオホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8281 URL http://www.xebio.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 諸橋 友良
 問合せ先責任者 (役職名) Financial Officer (氏名) 鳥居 廣嗣 TEL 03-6685-9178
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	68,242	6.1	3,949	38.7	4,200	43.6	2,819	876.4
2026年3月期第1四半期	64,308	△1.3	2,848	△26.1	2,925	△32.4	288	△89.6

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 2,317百万円 (782.9%) 2026年3月期第1四半期 262百万円 (△90.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	68.14	67.73
2026年3月期第1四半期	6.96	6.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	212,494	119,884	56.2
2026年3月期	205,996	118,313	57.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 119,348百万円 2026年3月期 117,761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		17.50	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	131,100	5.5	3,100	56.9	3,300	15.6	2,300	1286.2	53.52
通期	264,600	4.9	7,000	195.2	7,100	52.4	7,500	—	174.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	47,911,023株	2026年3月期	47,911,023株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	6,529,100株	2026年3月期	6,529,100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	41,381,923株	2026年3月期1Q	41,442,244株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績等はこれらの予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～6月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかに回復しました。一方で、消費者物価の上昇が続くなか、中東情勢や金融資本市場の変動等が景気及び消費者マインドに及ぼす影響に引き続き注意を要する状況となりました。

スポーツ用品販売業界におきましては、健康志向の高まりやサッカーワールドカップ開催に伴うスポーツイベントの活発化を背景に、ランニング、シューズ、一般競技スポーツ等を中心に需要がみられました。また、EC販売の伸長も市場を下支えしました。一方で、物価上昇に伴う消費者の選別消費の強まりに加え、6月の降雨及び気温推移の影響により夏物商品の動きが鈍化するなど、カテゴリーごとにばらつきがみられました。

このような市場環境のもと、当社グループは、「ここを動かすスポーツ。」「スポーツの国をつくろう。」というステートメントの実現に向け、前連結会計年度より推進している経営構造改革を継続し、収益性改善及び資本効率向上に向けた重点施策の実行に取り組んでまいりました。販売面では、国内小売事業においてシューズ、ウェルネス、ゴルフ及び一般競技スポーツが堅調に推移し、EC売上は全カテゴリーで前年を上回りました。一方で、トレーニングウェアなどの需要は、天候の影響を受け低調に推移しました。

利益面につきましては、売上総利益率は前年同期を下回ったものの、増収効果により売上総利益は増加しました。販売費及び一般管理費につきましては、EC売上の伸長に伴う広告宣伝費や新ECシステムの減価償却費等が増加した一方、リアル店舗における広告宣伝費の抑制や、店舗の生産性改善による人件費率の減少などを要因に、全体として増加を限定的なものに抑えました。また、前期に「ゼビオアリーナ仙台」引き渡しに伴う固定資産処分損を計上していた反動により、親会社株主に帰属する四半期純利益は大幅な増益となりました。

新規出店及び閉店につきましては、当第1四半期連結累計期間において8店舗を出店し11店舗を閉店しました。これにより、当第1四半期連結会計期間末におけるグループの総店舗数は969店舗となり、グループ合計の売場面積は前連結会計年度末に比べ1,546坪減少し207,275坪となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高682億42百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益39億49百万円（前年同期比38.7%増）、経常利益42億円（前年同期比43.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益28億19百万円（前年同期比876.4%増）となりました。

〔主な商品部門別の営業概況〕

<ゴルフ部門>

ゴルフ部門では、ギア、シューズ関連を中心にリアル店舗及びEC販売が好調に推移し、前年を上回りました。以上の結果、ゴルフ部門の売上高は、前年同期比5.5%の増加となりました。

<一般競技スポーツ・シューズ部門>

一般競技スポーツ・シューズ部門では、サッカー関連商品、トレーニングシューズ及びランニング・ウェルネス関連商品が堅調に推移し、EC販売の伸長も寄与しました。以上の結果、一般競技スポーツ・シューズ部門の売上高は、前年同期比10.8%の増加となりました。

<スポーツアパレル部門>

スポーツアパレル部門では、降雨及び気温推移の影響により、リアル店舗におけるトレーニングウェア等の販売が低調に推移しました。EC販売は前年を上回ったものの、リアル店舗の減収を補うには至りませんでした。以上の結果、スポーツアパレル部門の売上高は、前年同期比7.1%の減少となりました。

<アウトドア・その他部門>

アウトドア・その他部門では、トレッキング関連商品の販売が伸び悩んだ一方、キャンプ用品の一部やEC販売が堅調に推移し、全体では概ね前年並みとなりました。以上の結果、アウトドア・その他部門の売上高は、前年同期比2.1%の増加となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、夏季商戦を見据えた商品の拡充を行いつつ適切な在庫水準を維持したことによる運転資本の改善により、現金及び預金が増加しました。以上の結果、総資産は前連結会計年度末に比べ64億98百万円増加し2,124億94百万円となりました。

負債は、消費税の納付により減少した一方で、仕入債務、短期借入金が増加いたしました。以上の結果、前連結会計年度末に比べ49億28百万円増加し926億10百万円となりました。

また、純資産は、配当金の支払いがあった一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加しました。以上の結果、前連結会計年度末に比べ15億70百万円増加し1,198億84百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月15日に公表致しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,808	22,402
受取手形及び売掛金	16,634	15,212
営業貸付金	538	443
商品	87,543	88,809
未収還付法人税等	662	670
その他	12,830	13,899
貸倒引当金	△518	△501
流動資産合計	133,500	140,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	53,498	53,921
減価償却累計額	△40,165	△40,474
建物及び構築物（純額）	13,333	13,446
土地	14,786	14,786
リース資産	6,298	6,295
減価償却累計額	△3,420	△3,526
リース資産（純額）	2,878	2,768
建設仮勘定	1,403	1,420
その他	23,661	24,108
減価償却累計額	△19,857	△20,153
その他（純額）	3,803	3,954
有形固定資産合計	36,206	36,376
無形固定資産		
のれん	83	167
ソフトウェア	6,894	6,529
その他	2,233	2,156
無形固定資産合計	9,211	8,854
投資その他の資産		
投資有価証券	2,322	2,258
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	4,650	4,127
差入保証金	947	907
敷金	14,457	14,318
投資不動産	2,393	2,393
減価償却累計額	△613	△618
投資不動産（純額）	1,780	1,775
退職給付に係る資産	2,353	2,366
その他	691	714
貸倒引当金	△124	△141
投資その他の資産合計	27,078	26,327
固定資産合計	72,495	71,558
資産合計	205,996	212,494

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,342	20,002
電子記録債務	32,041	35,660
短期借入金	900	6,900
1年内返済予定の長期借入金	185	183
未払法人税等	1,106	1,084
賞与引当金	1,201	749
役員賞与引当金	15	3
ポイント引当金	62	53
その他	17,239	13,471
流動負債合計	73,095	78,107
固定負債		
長期借入金	1,799	1,759
リース債務	3,402	3,307
退職給付に係る負債	772	761
役員退職慰労引当金	59	59
資産除去債務	8,050	8,079
その他	501	535
固定負債合計	14,587	14,502
負債合計	87,682	92,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,935	15,935
資本剰余金	16,103	16,103
利益剰余金	93,811	95,907
自己株式	△9,774	△9,774
株主資本合計	116,076	118,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	841	792
為替換算調整勘定	△322	△757
退職給付に係る調整累計額	1,165	1,141
その他の包括利益累計額合計	1,684	1,176
新株予約権	398	375
非支配株主持分	154	160
純資産合計	118,313	119,884
負債純資産合計	205,996	212,494

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	64,308	68,242
売上原価	38,767	41,400
売上総利益	25,540	26,842
販売費及び一般管理費	22,692	22,892
営業利益	2,848	3,949
営業外収益		
受取利息	17	20
受取配当金	15	17
不動産賃貸料	135	140
為替差益	—	9
業務受託料	157	270
その他	86	86
営業外収益合計	412	544
営業外費用		
支払利息	25	53
為替差損	92	—
不動産賃貸費用	89	87
業務受託費用	113	136
その他	14	15
営業外費用合計	335	293
経常利益	2,925	4,200
特別利益		
固定資産売却益	1	13
受取和解金	167	—
新株予約権戻入益	19	29
投資有価証券売却益	0	—
負ののれん発生益	51	—
特別利益合計	239	42
特別損失		
固定資産除却損	5	12
固定資産処分損	2,325	—
減損損失	—	0
災害による損失	3	0
特別損失合計	2,334	13
税金等調整前四半期純利益	831	4,229
法人税、住民税及び事業税	691	845
法人税等調整額	△148	555
法人税等合計	543	1,400
四半期純利益	287	2,828
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△0	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	288	2,819

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	287	2,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55	△48
為替換算調整勘定	△71	△438
退職給付に係る調整額	△10	△23
その他の包括利益合計	△25	△510
四半期包括利益	262	2,317
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	282	2,311
非支配株主に係る四半期包括利益	△20	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,494百万円	1,513百万円
のれんの償却額	4 "	9 "

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

当社グループは、一般小売事業と、その他サービス事業を営んでおりますが、一般小売事業以外のセグメントはいずれも重要性が乏しく、一般小売事業の単一セグメントとみなせるため、記載を省略しております。